



# AUE News



2011年5月15日

第 16 号

編集・発行

愛知教育大学広報部会

TEL 0566-26-2738

FAX 0566-26-2500

## 目次

### ● 行事予定(5月16-31日)

### ● トピックス

- ・クールビズ始まる
- ・高蔵高校が本学見学
- ・新入生歓迎 土星観望会&「3D宇宙の旅」上映会

・愛知学長懇話会を本学で開催

・子どもまつり

### ● お知らせ・報告・投稿

- ・附属図書館にカウンター席など設置
- ・日本学術会議の提言公表
- ・催しもの案内

## 行事予定(5月16-31日)

- 16日(月) ハラスメント防止委員会 (11:00～ 第二会議室)
- 17日(火) 役員部局長会議 (13:00～ 学長室)  
評価委員会 (役員部局長会議終了後～ 学長室)  
大学改革推進委員会 (16:40～ 第三会議室)
- 18日(水) 教育人事委員会 (13:30～ 第五会議室)  
情報システム委員会 (13:30～ 第三会議室)  
財務委員会 (15:30～ 第五会議室)  
大学祭 (10:00～、22日まで 第一共通棟ほか)
- 19日(木) 附属図書館委員会 (16:40～ 附属図書館会議室)
- 24日(火) 役員会 (14:00～ 学長室)
- 25日(水) 保健環境委員会 (11:00～ 第五会議室)  
共通科目専門委員会 (13:30～ 第三会議室)
- 31日(火) 名誉教授称号記授与式 (11:30～ 学長室)  
役員部局長会 (13:00～ 学長室)  
評価委員会 (役員部局長会議終了後～ 学長室)

## トピックス

### クールビズ始まる(5/1)



ネクタイや上着を着用しない軽装で業務にあたる「クールビズ」が、本学では昨年より10日早い5月1日(日)にスタートした。実施期間は10月31日(火)まで。

本学では、地球温暖化対策の一環として、冷房の適温化の徹底および業務能率の向上のために、従来からクールビズに自主的に取り組んできた。さらに推進しようと、2009年度まで6月1日～9月30日だった期間を、昨年度は5月半ば～10月末に、本年度は5月1日からと拡大した。同日から、各課の

職員はノーネクタイのシャツスタイルなど、軽快な服装で業務を行っている。

クールビズを呼び掛ける人事課では、「今年は、震災の影響で夏の電力不足が心配されて各自

治体などでもクールビズを早めています。本学ではすでに実施しています。この後、政府からさらなる“スーパークールビズ”の要請があれば、対策を考えていくことになる」という。

### 高蔵高校が本学見学(5/8)

名古屋経済大学高蔵高等学校1年生64人と教員3人が、5月8日(日)、本学を見学を訪れた。この訪問は同校の開田高原での宿泊研修の一環で、最終日に本学に立ち寄った。

午後3時30分に一行はバスで到着し、第二共通棟411教室へ移動。法人運営職員から大学の概要説明を受け、ロビンズ・アントニー教授(外国語教育)の模擬授業に参加した。ロビンズ教授は英語で自己紹介をした後、「あなたにとって大学はどのような意味をもっていますか」「本を読むことが好きですか」「一番好きな授業は」などと、英語で一人ひとりに話しかけると、高校生たちは「はい」



「いいえ」などと、はずかしそうに英語で答えた。また「大学では先生に頼りすぎず、自分で取り組む姿勢が大切」と、大学で学ぶ心構えなどを述べた。在学生を代表して奥村純平さん(国際文化4年生)が、「大学は目的意識を持って、興味のあることを勉強できる素晴らしいところ。視野が広がります」など大学生活の感想を語り、「先輩」らしくアドバイスした。

一行は、その後、附属図書館を見学。大学の雰囲気をおよびり味わって、午後4時40分に大学を後にした。

### 新入生歓迎 観望会&「3D宇宙の旅」上映会(5/12、13)

新入生などを対象にした土星観望会と宇宙映像の上映会が、5月12(木)、13日(金)、自然科学棟で開かれた。



主催したのは、自然科学コースの宇宙・物質科学澤武文研究室。午後5時30分からは、「3D宇宙の旅」上映会が5階547教室で開催。国立天文台(東京都三鷹市)が4次元デジタル宇宙プロジェクトで開発したソフト

「Mitaka」を同研究室が立体映像用に専用スクリーンに投影し、宇宙のさまざまな構造や天体の位置

を学ぶことができる映像を公開。地球の映像が映しだされると、迫力ある映像に来場者から「うわ〜、すごい」と歓声が上がった。この日のテーマ「土星」に接近し、リングの構造のシミュレーションを見た後、地球や月など宇宙の大規模構造も紹介され、「137光年の宇宙の旅」を楽しんだ。上映は、各日3回行われ、2日間で計30人余が参加した。

上映後は「観望会」を開催。12日はあいにくの雨模様で中止となったが、13日は実施され、屋上の天文台で月や土星を観測。40cm望遠鏡を通して、月のクレーターや土星が見えて、参加者を喜ばせた。



### 愛知学長懇話会を本学で開催(5/14)

第60回愛知学長懇話会が5月14日(土)、本学で開催された。本部棟3階会議室での懇話会には愛知県内56大学のうち28大学の総長、学長、理事長と放送大学愛知学習センター所長が出席し、熱心な議論、意見交換が行われた。

会場校である本学の松田正久学長が議事進行役を務め、白石薫二理事(財務・施設担当)兼事



務局長が陪席した。松田学長は冒頭「記念すべき60回目に本学に来ていただきありがとうございます。交通の不便さを感じた方もおられるかもしれませんが、50 分に緑あふれる環境の良さは分かっていたので」と本学を紹介。続いて議事に入り、新会員の加入を了承し、2010年の事業報告、2011年度事業計画などを審議。本年度の教育交流・連携、東北地方の大学の学生等の受け入れについての報告があった。

意見交換では、東日本大震災への対応について各大学から独自の取り組みやボランティア参加、情報入手の課題などについて発言があり、「若者にとって魅力ある地域づくり」のテーマでは学園祭から文化を発信したい、などの提案があった。最後に松田学長が「各大学のアイデアを交換、懇話会としても議論を深め、次のステップに進むことを目指したい」と述べ、約1時間半の会を終えた。

### 子どもまつり(5/15)

「第42回子どもまつり」が5月15日(日)、本学構内で開催され、1132人の子どもたちが来場、学生約200余人が参加し、ゲームやイベントを通して触れ合いを楽しんだ。

天候に恵まれたこともあって、午前9時の受付開始時には開場を待ちわびる子どもたちが、受付前に行列。受付でもらったパンフレットを首から下げて、開会式開場の第一体育館に向かった。9時40分からの開会式では、“子まつりキャラ”も登場し、



実行委員が、落し物をしたり、迷子になった際の注意をクイズ形式で紹介。開幕すると、アテンドする学生たちと一緒に小グループになり、お目当てのゲームやイベントの会場に向かった。

第一共通棟の1、2階の教室、第一・第二体育館、中庭などでは、学生たちが子どもまつりのために考えた世界旅行やタイムスリップを体験するゲーム、スライムやお面作り、人形劇やボール投げなどが繰り広げられ、子どもたちは「お兄さん、お姉さんたちと、遊べて楽しい」「可愛い飾りやプレゼントがもらえて嬉しかった」と満足そうだった。



また、同まつりを企画・運営する「子どもまつり実行委員会」を、地元ケーブルテレビ局「キャッチネットワーク」が、準備から閉会までを密着取材。大西卓也委員長(中等・理科専攻3年)の奮闘ぶりやまつりでの子どもたちと学生の交流の様などが、6月5日(日)正午~12日(日)午前8時の「週刊キャッチタイム」のコーナー「クローズアップ MY TOWN」(約10分)で放送される。詳しい放送時間は同局のホームページ(<http://www.katch.co.jp/>)を参照。



### お知らせ・報告・投稿

#### 附属図書館閲覧席の更新とカウンター席設置(報告)

附属図書館では、閲覧環境改善の一環で老朽化している閲覧机を2009年度以降随時更新している。

2010年度は、本館3階北側閲覧席（女性コーナー）24席、本館3階南側閲覧コーナー16席、合計40席の更新を行った。設備は、個別照明、電源コンセント及び情報コンセントを装備している。

本館3階北側には、カウンター式閲覧席を今年3月に新設した。この席は、館内窓際のデッドスペースである柱と柱の間を有効に利用したカウンター式（電源コンセント及び情報コンセント装備）の閲覧席であり、試行的に10席を新設した。窓の外の風景にも目を向けながら、学習に、もの思いに、自由な時間を楽しんでほしい。

新館3階に大型テーブル席を設けた。この席は、図書館入口のロビーに設置されているやや異形のテーブルと同種であり、利用者の自由な発想で形が変えられ、少人数のグループでの利用を想定している。

閲覧環境の整備は、今後も利用者の声を取り入れながら継続していく予定である。また、カウンター式閲覧席の設置は、利用状況を見ながら、スペースの有効活用を推進する予定である。

（教育研究支援部長 三宅育夫）

### 日本学術会議が「働く人の生活・健康・安全のための提言」を公表（報告）

日本学術会議は、昨今の世界的な労働雇用環境の激変に伴い、わが国において、失業、非正規労働者の急増、長時間労働、心の健康障害、過労死、過労自殺などが社会問題になっている状況の打開策を提言するために「労働・雇用環境と働く人の生活・健康・安全委員会」を設置しました。

同委員会は、2009年7月から審議を開始し、その結果が、このほど（2011年4月20日）、提言「労働・雇用と安全衛生に関わるシステムの再構築を一働く人の健康で安寧な生活を確保するために」として公表されました。提言は、国の法整備・政策、労使の協力、職場の危険有害環境改善、人材育成、研究・調査体制の充実など10項目にわたり対策を示しています。

同委員会は、社会科学、健康科学、工学等の広い分野の専門家で作成され、本学保健環境センターから特任連携会員として参加しました。危険有害環境の改善の項を、本学における労働安全衛生活動の経験も踏まえつつ起草しています。

学術会議が働く人の健康安全について提言したのは30年ぶりであり、今後、提言の内容が各方面で活かされることが期待されています。提言は、かなり読みごたえのある内容です。学術会議のホームページ（<http://www.scj.go.jp/>）にてご覧ください。

（保健環境センター教授 久永直見）



### 催しもの案内

#### ◆震災被災者支援に関わる「トラウマケア研修会」

5月18（水）14:00～15:00

第一共通棟3階301教室 事前申し込み不要

・対象は本学教職員および学部学生、大学院生

本学教育臨床総合センターが主催。トラウマケアの専門家、下村美刈教授による震災の被災者、支援者への心のケアについての研修会。被災地支援のボランティアの際の心構えなども説明。

問い合わせ：教育創造開発機構運営課教育臨床担当 内線Tel：2316

#### ◆第42回大学祭

5月18日（水）～22日（日）

第一共通棟、第一・第二体育館など。入場無料。

・スポーツ、コンサートや模擬店など、多彩な企画を展開。

詳細は「大学祭」ホームページを参照。

<http://www.aichi-edu.ac.jp/gakusei/aufestival/>

◆劇団把夢第 98 回大学祭公演

5 月 21 日 (土) 11:00～、14:30～

5 月 22 日 (日) 11:00～

大学会館 2 階 入場無料

・演目「ムゲンモラトリウム」(脚本・演出:藤本康平)

詳細は「把夢」ホームページを参照。

<http://www.geocities.jp/gekidanpamu/>

◆愛知教育大学天文台第 63 回一般公開

5 月 21 日 (土) 14:00～、18:00～20:30

自然科学棟屋上天文台、5 階地学 538 教室。入場無料、事前申し込み不要

・「昼間の構成観望会」(14:00～15:30)「天文ミニ講座」(18:00～19:00)

「土星観望会」(19:00～20:30)。雨天時は講座のみ開催。

詳細は「愛知教育大学天文台」ホームページを参照。

<http://tenmon.phyas.aichi-edu.ac.jp/>

◆「彫(ちょう)か版(はん)か展」

5 月 22 日 (日)～29 日 (日) 10:00～17:00 水曜日休館

刈谷駅前商店街「スペース A q u a」(刈谷市南桜町 2-41) 入場無料

・本学 OG と大学院生の女子 2 人による彫刻と版画の展覧会。可愛い作品が並びます。

問い合わせ: 刈谷駅前商店街振興組合 Tel0566・23・2488

◆愛知教育大学第 3 回サイエンス・カフェ

6 月 4 日 (土) 17:00～20:00

自然科学棟 5 階地学 538 教室 入場無料、事前申し込み不要

・17:00～ 講座「宇宙線と放射線」(講師:児玉康一教授)

17:30～ 講座「放射線と私たちの健康」(講師:榊原洋子講師)

18:00～ 霧箱による宇宙線観測会

18:20～ カフェタイム

19:00～ 「土星の観望会」(雨天時は講座のみ開催)

問い合わせ: 理科教育講座 児玉研究室

Tel0566・26・2346 E-mail:kkodama@aecc.aichi-edu.ac.jp

## 編集後記

15 日は本学の一大イベントの一つ「子どもまつり」が開催され、キャンパスに子どもたちの元気な声が響きました。建物周辺の木々は若葉が緑を茂らせ、ツツジやデージーの花がそここに咲き誇り、花の蜜を求めて蝶が飛び交う…大震災の後だけに、そんな風景が平和の象徴のように目に映りました。東北の子どもたちにも、早くそんな日々が戻ってきますようにと祈り、18 日の「トラウマケア研修会」は取材を兼ねて、しっかり聴講したいと思います。(K)

## 投稿のお願い

学内外の出来事(教育・研究・地域連携・国際交流・学内事業など)に関するニュースの提供をお待ちしております。

メール:[kouhou@m.auecc.aichi-edu.ac.jp](mailto:kouhou@m.auecc.aichi-edu.ac.jp) 編集責任者:総務担当理事 折出 健二